

COURSE

国際地域学部 国際地域学科 4コース紹介

国際地域学部は1学部1学科です。入学後、最初の1年間はACE科目によって英語を集中的に学び、2年次から4つのコース(国際社会、比較文化、東アジア、地域環境)に分かれます。1年次でまず、国際地域学の導入科目を履修し、学問分野の理解を深めながら、時間をかけてコースを選びます。コース選択後も、コースを越えた科目の履修が可能です。

英語名の科目は、授業を英語で行っている専門科目です。国際地域学部では、英語で行われる専門科目の授業を無理なく履修するための履修プランとしてEMSモジュール(English Medium Studies Modules)を設置しています。EMSモジュールは「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へと進むための道しるべです。EMSモジュールには、国際政治経済分野(International Studies in Economics and Politics : iSEP)と応用言語学分野(Studies in Applied Linguistics : SAL)の2つがあります。

A 国際社会コース 国際社会の平和と発展に貢献し、自分を磨こう

国際社会と地域社会双方の公正かつ持続可能な発展に寄与するため、グローバル化の進展に伴って生じる国際的・地域的諸課題の本質を、国際社会研究にとって不可欠な応用社会科学の多角的な学習や演習などを通して、学際的かつ実践的に考察します。



科目一覧

- 国際関係史
- 国際政治学
- 現代経済学の理論と応用
- 国際経済学
- 国際関係論
- 国際法
- 欧州統合論
- 比較地球環境政治・政策
- 国際開発論
- The Challenge of World Economy
- International Relations
- Interactive Studies: Issues in International Politics
- Interactive Studies: Chinese Foreign Policy from IR Theoretical Perspectives
- Interactive Studies: Political Economy of International Development
- Interactive Studies: The Political Environment of Policy Analysis
- Interactive Studies: History of International Relations
- Interactive Studies: Elections, Public Opinion and Democracy
- Interactive Studies: Contemporary Issues in Microeconomics
- Interactive Studies: Growth, Development and Policy Choice
- 国際関係論演習I~II(基礎~展開)
- 国際政治学演習I~II(基礎~展開)
- 国際経済学演習
- 国際法演習I~II(基礎~展開)
- 欧州統合論演習I~II(基礎~展開)
- Seminar in International Development I~II
- 海外経済・金融事情

(平成30年度入学者対象 コース科目一覧)

- 内外経済・金融動向分析
- 行政演習
- 公共政策・財政論演習
- Seminar in Social Dimensions of Modern Public Policy
- Seminar in Security Studies
- Seminar in Culture and International Politics
- 比較政治学
- Comparative Politics
- 計量政治学
- 平和研究
- Peace Research
- 日本外交論
- 自治体外交論
- 国際人権法
- 行政法
- 比較公共政策・財政論
- Social Dimensions of Modern Public Policy
- 政策過程論
- Comparative Environmental Politics/Policies
- International Cooperation
- 開発人類学
- 公共経済学
- 計量経済学
- 国際経済・金融事情
- アメリカ地域経済分析
- アジア経済開発論
- ロシア・東欧経済論
- 現代ユーラシア研究
- 現代ヨーロッパ研究
- アジア地域の交流と統合
- Studies in East Asian Regional Integration
- 東アジア研究
- 東南アジア研究
- 現代韓国社会論
- 現代中国社会学
- 社会政策
- 世界の公衆衛生
- Security Studies

B 比較文化コース 言語・文化の交差点へアプローチは無量大

グローバル化はともすれば地域の言語や文化を衰退させます。国際交流のためには、多言語・多文化を尊重し共存に貢献できる人材が必要です。このコースでは、それぞれの歴史を担ったさまざまな社会の言語・文化を比較研究することで、人間相互の深い理解を目指します。



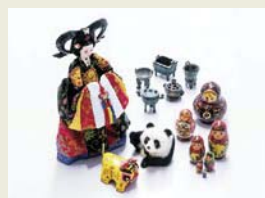
科目一覧

- 文化人類学
- 比較文化論
- 言語学
- 哲学・倫理学
- 比較宗教学
- 言語文化論
- 現代文化論
- 比較文学
- Principles of Applied Linguistics
- 文化人類学演習I~II
- 比較文学演習
- 環境文学・文化演習
- ヨーロッパ近現代史
- 言語の科学A(文法と意味)
- 言語の科学B(音声と音韻)
- 社会言語学
- Psycholinguistics
- Principles of Language Acquisition and Learning
- Principles of Bilingual Education
- Principles of Language Teaching
- Introduction to World Englishes
- 哲学演習

- 倫理学演習
- ジェンダーと社会
- 日本文化概論
- 英語圏の社会と文化
- 英語圏の文化と思想
- 英語圏文化・思想演習
- ポストコロニアルの思想と文化
- 比較文学
- アメリカ表象文化論
- アメリカ社会文化史
- アメリカ社会文化論
- Radical History
- ロシア民俗概論
- ロシア表象文化論
- 日露交流史
- 近代中国の社会と文化
- 現代中国の社会と文化
- 朝鮮半島の社会と文化
- 日本語概論
- 中国言語文化論
- 中国言語文化演習
- 英語音声学
- 英語学概論I(基礎)
- 英語学概論II(発展)
- 英語統語論研究I~II
- 英語学演習I~II
- 英語教育と英米文学
- Discourse Analysis
- Second Language Acquisition
- ドイツ語原書講読基礎
- ドイツ語原書講読発展
- 日本語教育学概論
- 日本語教育学演習

C 東アジアコース 隣国を深く知り、共に生きる道を築く

ロシア語・中国語・韓国語のいずれかを選択し、集中的・実践的なカリキュラムで生きた語学力を身につけると同時に、日本海の対岸諸地域の歴史や文化・社会などについて幅広く学びます。コミュニケーション能力と隣国への深い理解を基盤として、21世紀を牽引する人材を育成します。



科目一覧

- 文化人類学
- 言語学
- 日本語概論
- 言語文化論
- 日本文化概論
- 東アジア史
- 東アジア地誌
- 東アジア研究
- アジア経済開発論
- アジア地域の交流と統合
- Studies in East Asian Regional Integration
- 東アジアと日本
- ロシア民俗概論
- 日露交流史
- 現代ユーラシア研究
- 現代ヨーロッパ研究
- 時事ロシア語
- 近代中国の社会と文化
- 中国言語文化論
- 朝鮮半島の社会と文化
- 現代韓国社会論
- ロシア語A~II(基礎~初級CALL)
- ロシア語コミュニケーションI~VI
- ロシア言語文化演習A~C(中級文法~読解・多読)
- ロシア語学特殊研究
- ロシア語特別演習AI~CII
- 露日翻訳演習
- 現代ユーラシア研究
- 現代中国社会学
- 近代中国の社会と文化
- 中国言語文化論
- 朝鮮半島の社会と文化
- 現代韓国社会論
- ロシア語A~II(基礎~初級CALL)
- ロシア語コミュニケーションI~VI
- ロシア言語文化演習A~C(中級文法~読解・多読)
- ロシア語学特殊研究
- ロシア語特別演習AI~CII
- 露日翻訳演習

- 日露翻訳演習
- ロシア学特殊研究
- 時事ロシア語
- ロシア史
- ロシア表象文化論
- ロシア語の歴史と社会
- ロシア言語文化論A(伝統文化と社会)
- ロシア言語文化論B(文学)
- ロシア事情
- 海外ロシア語研修A・B(長期・中期)
- 中国語IA~II(語法基礎~読解初級)
- 中国語コミュニケーションI~IV
- 中国語表現演習IA~IIC(聴解・作文中級~作文上級)
- 中国語特別演習AI~CII
- 中国語表現演習III~IV(プレゼンテーション基礎~応用)
- 時事中国語
- 日中翻訳演習
- 中国事情
- 現代中国の社会と文化
- 中国言語文化演習
- 現代中国社会演習
- 海外中国語研修A・B(長期・中期)
- 韓国語IA~IIB(総合基礎~文法初級)
- 韓国語コミュニケーションI~IV
- 韓国語リーディングI~II(中級~上級)
- 韓国語リスニングI~II(中級~上級)
- 韓国語スピーキングI~II(中級~上級)
- 韓国語ライティングI~II(中級~上級)
- 日中翻訳演習
- 韓国語特別演習AI~CII
- 韓国語プレゼンテーションI~II(導入~実践)
- 韓国語表現法I~II(導入~実践)
- 韓国言語文化論
- 韓国言語文化演習
- 韓国社会論演習
- 韓国社会論演習
- 海外韓国語研修A・B(長期・中期)

D 地域環境コース 人と環境を学び人々の暮らしや社会に生かす

グローバル化の進む現在の地域環境は、便利な反面、環境破壊や資源の枯渇など深刻な問題を抱えています。本コースでは人間からフィールドまでの幅広い視点から総合的に「環境」を科学し、「持続可能な人間社会」について再生・発展を担う人材を育成します。



科目一覧

- 都市人間環境学
- 地球環境論
- 新潟県自然環境
- 地域生活産業論
- 環境と健康
- 環境化学
- 環境社会学
- 科学技術社会学
- 環境経済学
- 比較地球環境政治・政策
- Comparative Environmental Politics/Policies
- 政策過程論
- 国際資源・環境論
- 行政法
- 地方自治法
- 行政演習
- 計量経済学
- アメリカ地域経済分析
- 地域公共政策・財政論
- 公共政策・財政論演習
- サスティナブルシティ論
- 環境工学実験
- ヒューマンインタフェース
- ヒューマンインタフェース演習
- 空間デザイン論
- 都市デザイン論
- 地域デザイン論
- 空間デザイン演習A(住居)
- 空間デザイン演習B(公共建築)
- 都市・地域デザイン演習
- 建築・都市環境フィールド演習
- パッシブシステムデザイン学
- 居住設備デザイン工学
- プログラミング演習I~II
- 都市建築情報工学

みんながもっと知りたい

Q&A

Q1

英語力にあまり自信がありません。授業についていけるかどうか心配です。大丈夫でしょうか。

1年次に集中的に英語を学ぶ際、習熟度を考慮した少人数のクラスを編成し、経験豊富な教員がきめ細かな指導を行います。英語の効果的な学習法を学ぶ科目もあり、自律学習のためにSALCやCALL教室などの学習環境も整えています。学内で学ぶだけでなく、海外で行う短期~長期の英語研修に参加することもできます。充実したカリキュラムで着実に英語力を伸ばしてください。きっと自信をもって英語を使えるようになります。

Q2

進みたいコースが複数あって悩んでいます。

国際地域学科では、2年次から4つのコース(国際社会、比較文化、東アジア、地域環境)に分れますが、コースは、1年次に1年間かけてじっくりと選ぶことができます。導入科目を受講することによって、各コースで開講される科目を知ることができ、どんな教員がいるのかもわかります。教員と話してみるのもいいでしょう。コース選択のこと以外でも、いろいろ相談ののってくれます。

Q3

教員免許を取るためには、どうしたらよいでしょうか。

教員免許を取得するには、英語学や英語文学の領域に関わる科目と、「教育課程」や「教育相談」などの教職科目など、大学で定められている科目を履修し、大学を卒業する必要があります。また、教育実習が3年次後期と4年次前期の2回あり(計4週間)、介護等体験が計7日間あります。